

製品名: CD66e ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08434**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	CEACAM5
別名	CEACAM5; CEA; Carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 5; Carcinoembryonic antigen; CEA; Meconium antigen 100; CD66e
遺伝子 ID	1048.0
SwissProt ID	P06731
免疫原	抗血清はヒト CEACAM5 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 481-530

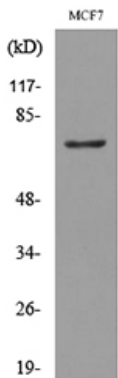
背景

この遺伝子は、癌胎児性抗原 (CEA) タンパク質ファミリーの創設メンバーである細胞表面糖タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、消化器癌の臨床バイオマーカーとして使用され、細胞接着分子としての役割を通じて腫瘍の発達を促進する可能性があります。さらに、コードされているタンパク質は、分化、アポトーシス、および細胞極性を制御する可能性があります。この遺伝子は、19 番染色体上の CEA ファミリー遺伝子クラスターに存在します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015 年 7 月],機能: 細胞接着および細胞内シグナル伝達に役割を果たす細胞表面糖タンパク質。大腸菌 Dr アドヘシンの受容体。PTM: 60%が炭水化物で構成される、分子量 180kDa の複合免疫反応性糖タンパク質。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。CEA ファミリー。類似性:7つの Ig 様 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット:ホモ二量体。大腸菌 Dr 接着因子の結合によりホモ二量体は解離する。組織特異性:内胚葉由来の消化器系上皮および胎児結腸の腺癌に認められる。、

研究分野

タグとセルマーカー

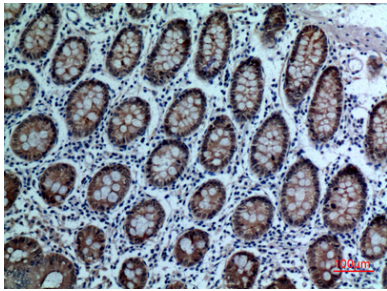
画像データ



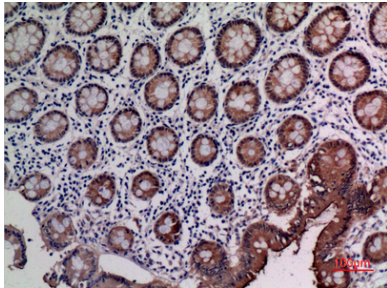
CEACAM5 抗体を使用した MCF7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



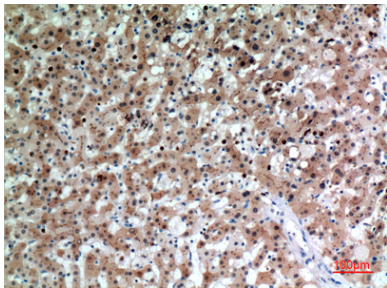
CD66e ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



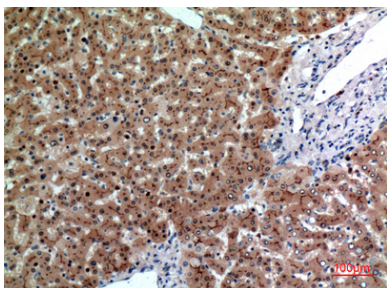
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された